

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【英語／コミュニケーション英語Ⅱ】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）普通科2年理類（〇名）

理類の中でも英語を得意とする生徒で構成された集団であり、ペアワークやグループワークなどの言語活動に前向きに取り組む生徒が多い。また、英語による授業が基本であるため、発言者が言っていることを理解できていない生徒も時折見られるが、お互いにサポートしあいながら、理解を深めている。

2. 単元名 “Does it Spark Joy?” (Prominence English CommunicationⅡ 東京書籍（全8時間）)

3. 単元で育成すべき資質・能力の三つの柱につながる単元の評価規準

①知識・技能	・情報や考えを述べるために必要となる語彙や表現を理解している。 ・日常的な話題（掃除・整理整頓）や社会的な話題（環境）について自分なりの考えを理由とともに話して伝える技能を身につけている。
②思考・判断・表現	「こんまりメソッド」に対する様々な視点から述べられた意見を聞いたり読んだりしたことをもとに、「こんまりメソッド」の効果について自分の考えを分かりやすく表現している。
③主体的に学習に取り組む態度	「こんまりメソッド」に対する様々な視点から述べられた意見を聞いたり読んだりしたことをもとに、「こんまりメソッド」の効果について自分の考えを分かりやすく表現しようとしている。

4. 本時の目標 「こんまりメソッド」について、考える材料を用いて自分の考えを書くことができる。

5. 授業展開【授業】

解決したい課題や問い

Do you think the KonMari Method is effective for you in the future?
あなたにとって将来「こんまりメソッド」は効果的だと思いますか。
（「こんまりメソッド」は全ての人々の生活にとって有効であるか？）

考えるための材料

- 教科書 本文（こんまりメソッドについて）
- 資料 A：「子育てで忙しくて実践できない、モノを捨てることへの罪悪感を持つ女性（Julie）」
B：「モノを集めることが趣味の男性（Shaun）」
C：「買い物上手になることができた男性（Sam）」
D：「自分のライフスタイルが明確になった女性（Lily）」

想定される活動

- ・Do you think the KonMari Method is effective for you in the future? という問いに対して、授業で学んだことをもとに意見を書く。
- ・エキスパート活動：それぞれのグループに与えられた、「こんまりメソッド」に対する様々な視点が書かれた英文（A～D）の概要をつかむ。
- ・ジグソー活動：エキスパート活動でまとめた内容やそれに対する自分の考えを、他のグループのメンバーに英語で伝える。
- ・ジグソー活動で得られた、「こんまりメソッド」に関する様々な視点をもとに、改めて「こんまりメソッド」が自分の将来において効果的であるかどうか自分なりの考えを英語で書く。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

- ・「こんまりメソッド」が効果的であるかどうかについて対話する。
- ・「こんまりメソッド」に対する様々な人々の考えが書かれた英文についての他の生徒の発表を聞き、意見交換をすることにより、「こんまりメソッド」が全ての人々にとって効果的であるかどうかを考える。これらを踏まえて、自分の生活にとってこのメソッドが有効であるのかを考え、英語で表現する。

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

First, I thought the KonMari Method is effective for me because my messy room would be tidy and I can discover what I really want to do. However, throwing away things too much could be bad for sustainability. I would like to be more eco-friendly person. After I graduate from high school and live alone in an apartment, I would rather think of how to use or keep my favorite things for a long time rather than throwing things away.